



つじ 史子
公明党田原市議団

軟骨伝導イヤホンを設置していく考えは

窓口での手続きに効果的な方法の一つであるため、今後検討していく



難聴者の意思疎通の支援について

- 問** 難聴の方の窓口対応の際、苦慮していることは。
- 答** 少し大きな声で窓口対応することがあり、内容などが周りに聞こえてしまう状況が生じる事がある。
- 問** 軟骨伝導イヤホン(※)を相談窓口を設置する自治体や金融機関、病院が増えているが、本市の窓口を設置していく考えは。
- 答** 軟骨伝導イヤホンが窓口での手続きに効果的な方法の一つであると考えているため、その他のさまざまな方法とも比較しながら、難聴の方への対応について検討する。
- 問** 難聴の高齢者について、どのような対応が必要であると考えているか。
- 答** 難聴を放置すると、認知機能の低下を招くことなどを周知・啓発するなど、早期発見に向けて取り組むことが重要であると考えている。

- 問** 補聴器を適切に使える体制を整備するとともに、財政的な支援を検討すべきだと考えているが、購入費用の助成制度を創設する考えは。
- 答** 補聴器の使用による効果や助成制度についての課題を整理するとともに、制度化の必要性について検討していく。



※軟骨伝導イヤホン
耳周辺の軟骨の振動を通じて音が聞こえる軟骨伝導を応用したもので、イヤホンを入らなくても明瞭に音が聞こえ、音漏れが少ない。



一般質問

- | | | |
|------|-------|---------------------------|
| P 6 | 真野 尚功 | 子ども・若者に向けた魅力づくりについて |
| P 7 | 辻 史子 | 難聴者の意思疎通の支援について |
| P 8 | 村上 誠 | 地域コミュニティ活動等支援制度について |
| P 8 | 山上 勝由 | 結婚支援施策について |
| P 9 | 内藤 浩 | 行財政運営における公共施設の適正化について |
| P 10 | 古川 幸宏 | 商業振興支援について |
| P 10 | 中村健太郎 | 子ども・若者施策について |
| P 11 | 内藤喜久枝 | 赤羽根福祉センターの在り方について |
| P 12 | 小川 貴夫 | 職員の採用方法と働き方改革について |
| P 13 | 中野 哲伸 | 飼い主のいない猫の問題について |
| | | タクシー不足に対する今後の取り組みについて |
| P 14 | 小川 金一 | 新しいビジネスモデル創出のための取り組みについて |
| P 15 | 岡本 重明 | 市民の日常生活利便性向上に向けたまちづくりについて |